



被爆80周年
Observing 80 years
since the atomic bombing

和 Culture of Peace
平和文化



国連軍縮研究所

ユニディール
UNIDIR 所長による 講演会

将来を見据えた 平和と安全保障

国連軍縮研究所の視点から

国連軍縮研究所 (UNIDIR, ユニディール)*のロビン・ガイス所長を講師として迎え、世界における核軍縮の現状や、被爆地ヒロシマが経験した核兵器使用の非人道的結末を伝える意義等についてご講演いただくとともに、次世代を担う若者に向けて、国際機関で活躍するために必要なこと等について、ご紹介いただきます。(予定)

* 国際連合の一部として、軍縮と兵器管理に関する研究、分析及び提言を行う専門機関。



参加
無料

定員: 50名



国連軍縮研究所 (UNIDIR)

ロビン・ガイス 所長

キール大学 (ドイツ) で法学博士号を取得。
英国グラスゴー国際法・安全保障センター
(イギリス)、ジュネーブ国際人道法・人権
アカデミー (スイス)、パリ政治学院 (フ
ランス) を歴任。赤十字国際委員会
(ICRC) の国連人権理事会の法律顧問
及び代表を務め、国連事務総長の軍縮
問題諮問委員会の委員を務める。専門は、
平和、安全保障、国際問題。2021年
4月に国連軍縮研究所 (UNIDIR) 所長
に就任。

2025

5.24 [土]
14:00~15:30

広島国際会議場
地下2階 コスモス1
〒730-0811 広島県広島市中区中島町1-5

対象者

大学学部生・大学院生・
留学生など

—— 日英同時通訳付き ——

申し込み



事前申込が必要です。参加をご希望の方は、
こちらからお申込みください。

URL <https://forms.office.com/r/eKFUKyKmxC>

[お問い合わせ]

主催: 一般社団法人ヒロシマ平和研究教育機構

☑ info@hpf-peace.jp ☎ 082-207-2516

(平日 8:30~17:15)



ヒロシマ平和研究教育機構
HIROSHIMA PLATFORM FOR PEACE STUDIES AND EDUCATION